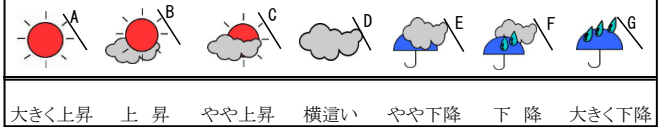


葛飾区の 景況

令和6年7～9月期

回答先 合計 847社
 製造業 178社 卸売業 121社
 小売業 91社 サービス業 164社
 建設業 149社 不動産業 125社
 ※不明 19社
 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
 調査機関 (株)東京商工リサーチ

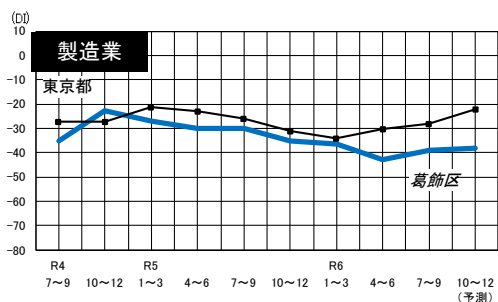
景気予報



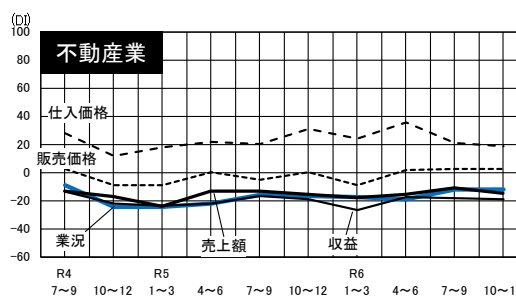
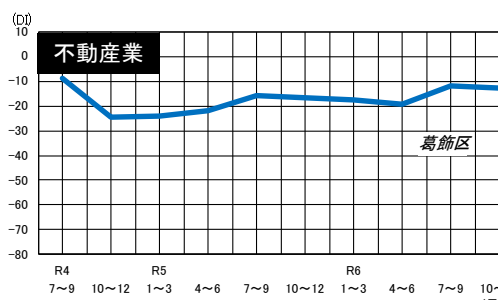
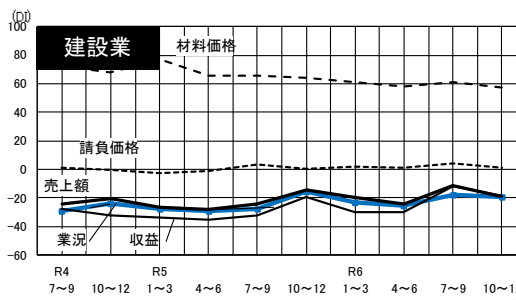
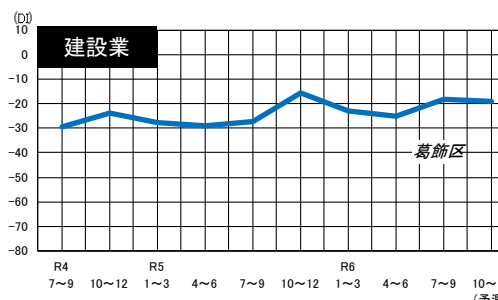
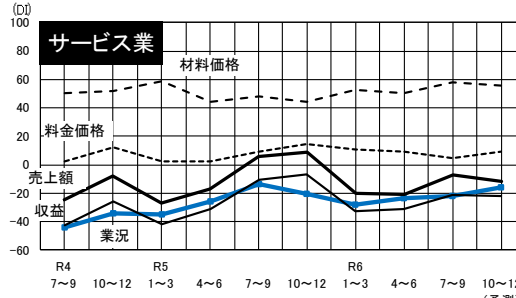
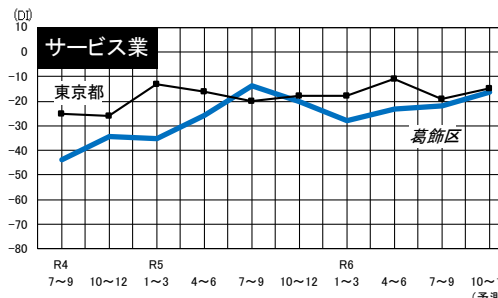
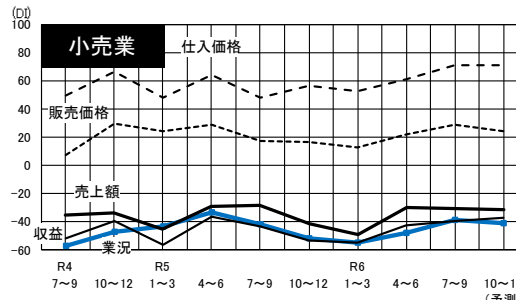
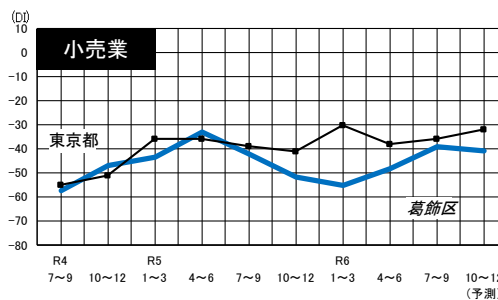
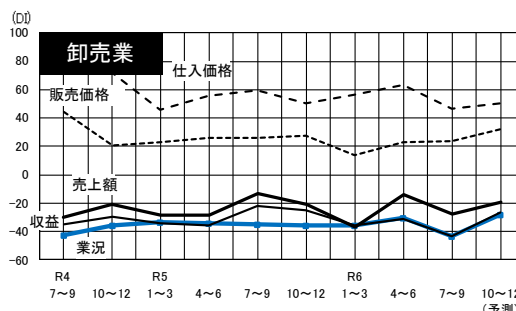
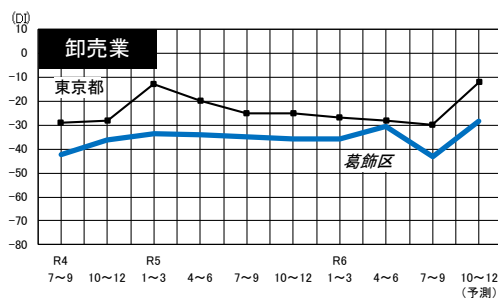
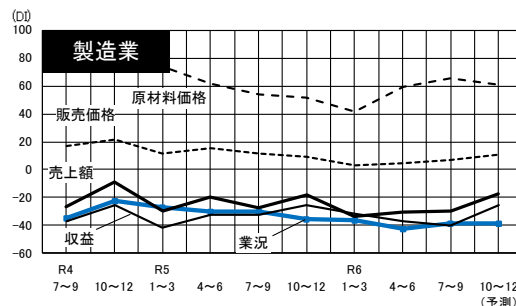
これは、令和6年9月下旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3ヶ月間（令和6年10月～12月期）の予想をまとめたものです。

全体	今期		業況はやや厳しさが和らいだ。売上額、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格は前期並となり、仕入価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りは前期並となった。
	来期		来期の業況はやや厳しさが和らぐ見込み。売上額は今期同様で推移し、収益はやや減少幅が縮小すると予想されている。
製造業	今期		業況はやや厳しさが和らいだ。売上額は前期並となり、収益はやや減少幅が拡大した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、原材料価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りは大きく窮屈感が強まった。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は大きく減少幅が縮小すると予想されている。
卸売業	今期		業況は大きく低調感が強まった。売上額、収益は大きく減少幅が拡大した。販売価格は前期並となり、仕入価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りは大きく窮屈感が強まった。
	来期		来期の業況は大きく厳しさが和らぐ見込み。売上額、収益は大きく減少幅が縮小すると予想されている。
小売業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額は前期並となり、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況はやや低調感が強まる見込み。売上額は今期同様で推移し、収益はやや減少幅が縮小すると予想されている。
サービス業	今期		業況は前期並となった。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。料金価格はやや上昇傾向が弱まり、材料価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りは大きく窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は大きく厳しさが和らぐ見込み。売上額はやや減少幅が拡大し、収益は今期同様で推移すると予想されている。
建設業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、施工高、収益は大きく減少幅が縮小した。請負価格、材料価格はやや上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が強まった。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
不動産業	今期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額はやや減少幅が縮小し、収益は前期並となった。販売価格は前期並となり、仕入価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益はやや減少幅が拡大すると予想されている。

葛飾区と東京都の業況の動き（実績） と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績） と来期の予測



※東京都の景況調査におきましては建設業・不動産業の調査は実施されていないので、全都の建設業・不動産業の業況は表示していません。

葛飾区 業種別 経営上の問題点

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	原材料価格・材料価格の上昇 59%	売上の停滞・減少 50%	売上の停滞・減少 60%	売上の停滞・減少 39%	人手不足 56%	売上の停滞・減少 24%
第2位	売上の停滞・減少 56%	原材料価格・材料価格の上昇 33%	利幅の縮小 30%	人手不足 37%	原材料価格・材料価格の上昇 43%	同業者間の競争の激化 22%
第3位	人件費の増加 人手不足 23%	仕入先からの値上げ要請 25%	原材料価格・材料価格の上昇 29%	人件費の増加 27%	売上の停滞・減少 30%	利幅の縮小 19%
第4位	利幅の縮小 21%	取引先の減少 24%	仕入先からの値上げ要請 25%	原材料価格・材料価格の上昇 25%	人件費の増加 27%	原材料価格・材料価格の上昇 16%
第5位	取引先の減少 11%	利幅の縮小 21%	人手不足 人件費の増加 21%	利幅の縮小 19%	利幅の縮小 22%	人件費以外の経費増加 13%

葛飾区 業種別 重点経営施策

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
第1位	販路を広げる 37%	販路を広げる 47%	経費を節減する 34%	経費を節減する 38%	人材を確保する 57%	経費を節減する 29%
第2位	経費を節減する 33%	経費を節減する 32%	販路を広げる 24%	人材を確保する 33%	経費を節減する 43%	不動産の有効活用を図る 28%
第3位	人材を確保する 27%	仕入先・提携先を開拓・選別する 25%	品揃えを充実させる 人材を確保する 23%	販路を広げる 25%	技術力を強化する 28%	情報力・宣伝・広報を強化する 24%
第4位	技術力を強化する 22%	人材を確保する 17%	売れ筋商品を取扱う 18%	情報力・宣伝・広報を強化する 18%	販路を広げる 20%	販路を広げる 17%
第5位	新製品・技術を開発する 17%	情報力・宣伝・広報を強化する 新製品・技術を開発する 売れ筋商品を取扱う 11%	情報力・宣伝・広報を強化する 16%	技術力を強化する 15%	仕入先・提携先を開拓・選別する 18%	仕入先・提携先を開拓・選別する 10%

東京都・葛飾区の企業倒産動向

1. 「東京都」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期		
	2023年7~9月	2024年4~6月	2024年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	425	485	442	-8.9%	4.0%
負債額(単位:百万円)	133,343	77,767	89,951	15.7%	-32.5%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

2. 「葛飾区」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期		
	2023年7~9月	2024年4~6月	2024年7~9月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	7	11	13	18.2%	85.7%
負債額(単位:百万円)	520	808	5,815	619.7%	1018.3%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

東京都の景況

令和6年9月の都内中小企業の業況DI(業況が「良い」とした企業割合ー「悪い」とした企業割合)は、前期から2ポイント減の▲28とやや悪化した。今後3ヶ月間の業況見通しでは、今期比8ポイント増の▲20と大幅に改善する見通しとなっている。

業種別の結果は次のとおり。

製造業 業況DI(▲28)は2ポイント増とやや改善した。販売価格DI(販売単価が「上昇」とした企業割合ー「低下」とした企業割合)(▲1)は2ポイント減と上昇から下降に転じ、仕入価格DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合ー「低下」とした企業割合)(24)は2ポイント減とやや下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲22)は6ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

卸売業 業況DI(▲30)は2ポイント減とやや悪化した。販売価格DI(11)は2ポイント減とやや下降し、仕入価格DI(16)は13ポイント減と大幅に下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲12)は18ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

小売業 業況DI(▲36)は2ポイント増とやや改善した。販売価格DI(9)は5ポイント減とやや下降し、仕入価格DI(20)は9ポイント減と大幅に下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲32)は4ポイント増とやや改善すると見込まれている。

サービス業 業況DI(▲19)は8ポイント減と大幅に悪化した。販売価格DI(2)は2ポイント増とやや上昇した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲15)は4ポイント増とやや改善すると見込まれている。

特別調査「事業所・工場の建替えや移転について」

問1. 葛飾区内の事業所（事務所）や工場（作業場所）の有無について（〇は1つのみ）

(単位：%)

	区内に事業所があり、工場は持っていない	区内に事業所と工場がある（兼用の場合も）	区内に事業所と工場があり、区外にも工場がある	事業所は区外にあり、区内には工場がある	事業所は区内にあり、区外には工場がある	その他
全体 (760件)	65.0	23.3	2.9	0.3	5.5	3.0
製造業 (168件)	13.1	71.4	6.0	0.0	9.5	0.0
卸売業 (111件)	80.2	7.2	3.6	0.0	4.5	4.5
小売業 (70件)	81.4	5.7	1.4	0.0	7.1	4.3
サービス業 (145件)	73.8	13.8	0.7	0.0	5.5	6.2
建設業 (140件)	75.7	14.3	2.9	0.7	4.3	2.1
不動産業 (110件)	93.6	0.9	0.9	0.9	0.9	2.7

問2. 葛飾区内の事業所や工場の操業環境等に問題や課題はあるか（〇はいくつでも）

※問2以降、①は問1で1～3、5を選んだ方。②は2～4を選んだ方が回答。

(単位：%)

①事業所の問題や課題	建物の老朽化	借地（借家）なので、いつまで更新できるか不明	事業をするのに狭い／広い	労働環境に不満足（トイレ、休憩場所等）	近隣住民から苦情がある	特になし	その他
全体 (692件)	26.3	9.4	11.0	4.6	1.4	60.0	1.3

(単位：%)

②工場の問題や課題	建物の老朽化	借地（借家）なので、いつまで更新できるか不明	事業をするのに狭い／広い	労働環境に不満足（トイレ、休憩場所等）	近隣住民から苦情がある	特になし	その他
全体 (187件)	45.5	11.8	19.8	7.5	5.3	38.0	3.7

問3. 問題や課題への対応について（〇はいくつでも）

問2で1～5、7を選んだ方

(単位：%)

	1	2	3	4	5	6
①事業所の問題や課題への対応	区外の他の物件へ移転	区内の他の物件へ移転、隣地等への拡張	建物の修繕・建替え	労働環境改善（トイレ改修等）	考えていない、わからない	その他
全体 (300件)	6.7	15.7	32.3	6.7	43.3	5.0

7
(単位：%)

	7	その他
②工場の問題や課題への対応	騒音・臭気等の近隣対策	考えていない、わからない
全体 (115件)	7.8	33.9

問4. 区外移転を考える理由（〇はいくつでも）

問3で1を選んだ方

(単位：%)

①事業所	立地（特定の客先に近いなど）	周辺環境	賃料等の費用面	土地・建物の面積を十分に確保できる	移転先自治体の支援（補助金など）	防災面	その他
全体 (27件)	33.3	25.9	40.7	48.1	7.4	11.1	11.1

(単位：%)

②工場	立地（特定の客先に近いなど）	周辺環境	賃料等の費用面	土地・建物の面積を十分に確保できる	移転先自治体の支援（補助金など）	防災面	その他
全体 (14件)	35.7	35.7	57.1	57.1	7.1	14.3	7.1